

第5学年 外国語科学習指導案

日 時 令和3年11月18日(木) 公開授業②

児 童 5年2組 男10名 女11名 計21名

指導者 金野 久美子 (HRT)

千葉 明子 (特別支援)

授業構想の視点 HRTのみによる指導の在り方

1 単元名 Unit 7 What would you like? (Here We Go! 5)

2 単元について

(1) 児童観

本学級の児童はこれまでに、自分の好きなものや誕生日、欲しいものなどについての表現に慣れ親しみ、やり取りする活動をしてきた。また、I have～. という表現を使って、身の回りのものや時間割などを聞き取ったり話したりする活動に取り組んできた。本単元に関わる内容としては、4年生での What do you want? / I want ～. の表現が挙げられる。そして、5年生では What do you want for your birthday? の表現でやり取りしてきた。このように、欲しいものをたずねたり答えたりする表現に慣れ親しんできている。

これまでの活動を通して、外国語を用いて友達とのやり取りをすることの楽しさを感じながら、既習を使ってコミュニケーションしようとする態度や相手の意図を汲んでやり取りしようとする態度が身に付いてきている。

(2) 教材観

本単元は、料理を注文したり、値段をたずねたりして受け答えできるようにすることをねらいとしている。これまで学習してきた欲しいものをたずねる What do you want? や欲しいものを伝える I want ～. の表現の丁寧な言い方として、What would you like? や、I'd like ～. という表現を学んでいく。さらに、値段をたずねる How much is it? や値段を答える It's ～yen(dollars). を学び、使えるようにしていく。また、レストランでの店員と客のやり取りを通して、注文したり、値段をたずねたりすることだけでなく、May I help you? / Yes, please. / Here you are. / Enjoy your meal. など、店でのやり取りの基本的な表現にも慣れ親しむことができる。世界各国の食べ物や物価を知ること、異文化に触れることができる教材である。

(3) 指導観

本単元のゴールとして「Daito レストランに1年生を招待しよう」を設定した。レストランで注文する活動をするにあたり、同学年のみより低学年を巻き込むことで5年生自身も楽しみながら活動できると考える。その際に、5年生が1年生の注文を英語で伝える通訳になることで、本単元に臨む必然性の高まりと意欲の高まりが期待できる。このように下学年と一緒に活動することで、これまでの「自分の思いや考えを伝えるためのコミュニケーション」という枠を超え、「他者を支える・他者同士をつなぐためのコミュニケーション」を図る楽しさや有用感をもたせたい。また、単元ゴールに向かって、欲しいものをたずねるたり伝えたりする表現、値段をたずねたり伝えたりする表現とそれぞれ段階を分けて慣れさせていく。それと共に、店員の接客の表現も知り、ゴール

のレストランの活動では、招待した 1 年生の思いを通訳する楽しさを感じながら活動できることを目指していく。

本単元の学習では、1 年生を招待するためには、どんな表現が必要かということを単元の学習を通して考えながら、学習していけるようにする。そのために、まずは単元ゴールをデモンストレーションで提示することで具体的に活動を捉えられるようにする。そして、招待状を渡したり、好きな食べ物をインタビューしたりしておくことで、継続的に意欲をもてるようにしたり、言えるようになっておきたい語彙などを考えたりできるようにしたい。また、毎時間の導入では、単元のゴールと本時のゴールを確認していくことで、意欲的に活動できるようにしていく。さらに、毎時間の終末では、視点を与えることで単元ゴールを意識した振り返りを書けるようにするとともに、次への期待を高めていくようにする。レストランでのやり取りを実現させるために、注文し、商品や代金の受け渡しをするまでの一連の会話ができるように、単元を通して楽しみながら何度も練習し、自信をもってやり取りできるようにしていく。

3 単元の目標

- ・ 1 年生に、レストランの注文を通訳する活動を通して、英語を使って注文したり、値段をたずねたりすることができる。

4 関連する学習指導要領における領域別目標

領域	学習指導要領における領域別目標
話すこと [やり取り]	ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。

5 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「やり取り」	< 知識 > What would you like? / I'd like ～. や How much is it? などの表現について、また食べ物や飲み物を表す語について理解している。 < 技能 > 食べ物や飲み物について、What would you like? / I'd like ～. や How much is it? などの表現を用いて、料理を注文したり値段をたずねたりする技能を身に付けている。	買い物をするために、食べ物や飲み物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、注文したり値段をたずねたりするやり取りをしている。	買い物をするために、食べ物や飲み物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、注文したり値段をたずねたりするやり取りをしようとしている。

6 単元指導計画（全 7 時間）

単元のゴール

Daito レストランに 1 年生を招待しよう！

話すこと【やり取り】で評価

第 7 時 ◎レストランに 1 年生を招待し、通訳する。

- ・店員と案内役に分かれてレストランごっこを行う中で、1 年生の注文を通訳して伝え合う。
- ・本 Unit の学習を通しての自身の変容等について振り返る。

表現：前時まで扱ったもの 語彙：食べ物、飲み物、デザート、3 桁の数字

〔手立て 3〕単元の活動全体を通した学びを振り返ることができるように、Here we go！シートを活用する。

【態度】買い物をするために、食べ物や飲み物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、注文したり値段をたずねたりするやり取りをしようとしている。

【思・判・表】買い物をするために、食べ物や飲み物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、注文したり値段をたずねたりするやり取りをしている。

第 6 時（本時）◎レストランで値段を確かめて注文する。

- ・レストランのメニューの値段を聞き取ったり値段を決めたりして、メニューを完成させる。
- ・5 年生で店員と客になり、レストランで値段をたずねて注文する。

表現：前時まで扱ったもの/All right./Here you are./Enjoy your meal. 語彙：食べ物、飲み物、デザート、3 桁の数字

〔手立て 2〕注文する一連のやり取りができるようにするために、既習の使える表現を振り返って練習する。

【思・判・表】買い物をするために、食べ物や飲み物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、注文したり値段をたずねたりするやり取りをしている。

第 5 時 ◎ものの値段をたずね合う。

- ・世界各国の料理についての映像をから、異文化への理解を深める。
- ・値段当てクイズをし、ものの値段をたずねたり答えたりする。
- ・ものの値段をたずねる文を書く。

表現：How much is it? / It's 4 dollars(400 yen). 語彙：食べ物、飲み物、3 桁の数字、国

〔手立て 2〕値段をたずねる表現に慣れるために、出題者を変えて値段当てクイズをするようにする。

【知・技】How much is it? / It's 4 dollars(400 yen). の表現と 3 桁の数字について理解し、値段を聞き取る技能を身に付けている。

第 4 時 ◎ものの値段をたずねたり答えたりする言い方を知る。

- ・ものの値段を聞きとり、値段をたずねる言い方確かめる。
- ・世界のものの値段クイズをし、値段をたずねたり答えたりする言い方に慣れる。

表現：How much is it? / It's 4 dollars(400 yen). 語彙：食べ物、飲み物、3 桁の数字、国

〔手立て 2〕ものの値段をたずねるやり取りに慣れるために、繰り返し発音する場を設定する。

第 3 時 ◎学級で人気ナンバーワンのメニューを調べる。

- ・注文する要領で丁寧な言い方をしたり、答えたりする。
- ・これまで学習した語句や表現を使って、自分が食べたいものを書く。

表現：What would you like? / I'd like ～. 語彙：食べ物、飲み物

〔手立て 2〕学級で人気ナンバーワンのメニューを調べるために、より多くの友達とやり取りできるようにする。

【知・技】What would you like? / I'd like ～. の表現と食べ物や飲み物が表す語について理解し、注文したものを聞き取る技能を身に付けている。

第 2 時 ◎丁寧に料理を注文する言い方を知る。

- ・注文したものを聞き取り、丁寧に注文する言い方確かめる。
- ・カード並べをして、食べ物の言い方に慣れる。

表現：What would you like? / I'd like ～. 語彙：食べ物、飲み物

〔手立て 3〕欲しいものをたずねる表現がより丁寧な表現に変化したことを知るために、これまでの既習を振り返る。

第 1 時 ◎Unit7 のゴールと食べ物や飲み物、値段の言い方を知る。

- ・「レストランに 1 年生を招待して、店員と通訳になり、英語表現を使ってやり取りをする」という単元のゴールを確認する。（教師によるデモンストレーション）
- ・食べ物や飲み物、値段の言い方を知る。

表現：May I help you? / Yes, please. 語彙：食べ物、飲み物、3 桁の数字

〔手立て 1〕単元のゴールを捉えられるように、T1 と T2 で店員と通訳がやり取りしているデモンストレーションを行う。

本 Unit で身に付けさせたい、高めたい力

一連のやり取りを完結させるまでやり切る力、返答に対してさらに返答する力

7 授業構想の視点

【HRT のみによる指導の在り方】

- ・Unit goal のデモンストレーションを見せることで、具体的なイメージをもちながら、単元を通して活動できるようにする。
- ・small talk で児童とやり取りをすることで、学級全体に広げながら復習し、本時の活動につなげるようにする。

8 本時の指導

(1) 目標

レストランの店員と客として、注文したり値段をたずねたりするやり取りができる。

(2) 指導にあたって

〔手立て2〕・注文する一連のやり取りができるようにするために、既習の使える表現を振り返って練習する。

- ・より良いやり取りができるようにするために、途中で良いやり取りを取り上げるようにする。

〔手立て3〕・自分の成長を感じられるようにするために、これまでの学習と比べて、どのように変容しているのかを視点としてもたせる。

(3) 展開 (6 / 7 時間)

段階	児童の活動	教師の働きかけ ◎評価〈方法〉〔手立て〕	準備物
導入 5分	1 Greeting ・全体で挨拶をする。 Hello, ～. How are you? Unit goal Daito レストランに1年生を招待しよう！	・全体で挨拶し、今の気分を伝え合う。 ・隣同士のペアでも挨拶する。 ・1年生を招待して通訳するという単元のゴールを確認し、本時の活動につなげ、意欲的に取り組めるようにする。	・単元のゴール ・本時のゴール
	Today' s goal レストランで値段を確かめて注文しよう。	・本時の学習の姿勢の重点を確認する。 (D A ① ② O)	・D A I T O カード
展開 30分	2 Let' s listen and read. P. 88. 89 ○メニューの値段 ・メニューの値段を聞き取る。 ・空欄部分の値段を決めて、メニューを完成させる。 3 Activity ○レストランでの注文 ・教師が店員、児童が客になり、やり取りをする。 ・店員と客になり、レストランで値段をたずねて注文する。	・聞こえたメニューを指差し、その値段をメニューに書き込むように指示する。 ・全体で答えを確認する。 ・お店を開くには、メニューを完成させる必要があることを知らせ、空欄部分の値段を話し合う。 ・メニューの値段を言えるように練習する時間をとる。 ・注文する一連のやり取りができるようにするために、既習の使える表現を振り返って練習する。〔手立て2〕 ・店員と客の役割を交代して行うようにする。 ・より良いやり取りができるようにするために、途中で良いやり取りを取り上げるようにする。〔手立て2〕 ◎買い物をするために、食べ物や飲み物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、注文したり値段をたずねたりするやり取りをしている。〈行動観察〉	・提示用メニュー ・デジタル教材 ・児童用メニュー

終 末 10 分	4 Reflection ・ 本時の活動の振り返りをシートに記入する。	・ これまでの学習に比べて、どのように変容しているのかを視点としてもたせ、自分の成長を感じられるようにする。 [手立て3]	・ Here we go ! シート
	5 Closing 店員さんでは、ていねいに注文を聞いたり値段を答えたりできた。 お客さんとして、注文したり値段をたずねたりできた。 1年生によろこんでもらえるように、本番もがんばりたい。	・ 次時は、いよいよ1年生を招待する時間であることを伝えることで、次時への期待感をもてるようにする。	